

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年3月10日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年3月10日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【6号機復水脱塩装置苛性貯槽純水配管からの純水の滴下について】 当社社員が、6号機復水脱塩装置純水配管の元弁フランジから水の滴下を確認。 原因はフランジパッキンの経年劣化と推定。 滴下水の液性をリトマス試験紙により確認したところ、中性であったことから、純水であることを確認。 なお、本設備はプラント運転中に使用する設備であり、現在は使用しておらず、今後も使用しないため閉止板を取り付ける予定。</p>	GⅢ	3月7日
2	<p>【3号機高台流量調整ヘッダ用凍結防止ヒータの被覆の損傷について】 協力企業作業員が、3号機の高台炉注水系流量調整ヘッダ用凍結防止ヒータの被覆に損傷を確認。 応急処置として、ヒータの電源を切りとした。 なお、配管の凍結を防止するため保温材にて仮復旧済み。 今後は、当該ヒータの配線交換予定。</p>	GⅢ	3月7日